

平成29年度事業計画書

公益目的事業1 平和普及啓発事業

1. 講演会等の普及啓発

- (1) 五井平和財団フォーラム2017開催
開催日 平成29年11月25日(土)
場 所 東京都千代田区 日経ホール
参加予定者 約600名
- (2) 東京講演会の開催
「講演会シリーズ：21世紀の価値観」
年4回開催 対象は賛助会員および一般
参加予定者 各約200名
- (3) 地方講演会の開催
「講演会シリーズ：21世紀の価値観」
年1回開催(大阪) 対象は賛助会員および一般
参加予定者 各約200名
- (4) Living New ワークショップ
会員・一般参加型プロジェクト
コース型ワークショップ(全コース4回)
および単発ワークショップ各年2回開催
- (5) 賛助会員との交流及び活性化事業
 - ①五井平和財団会員総会開催
年1回開催 対象は賛助会員および一般
本年度開催予定地 北海道札幌市
参加予定者 約100名
 - ②地方懇談会の開催
年8回開催 対象は賛助会員および一般
開催予定 金沢/4月22日(土)、松本/4月23日(日)
秋田、青森
山梨、静岡
参加予定者 各地約30名
 - ③ボランティア活動
コミュニケーターの活性化 財団活動の広報・普及
コミュニケーター研修会

(6) 国際理解に資する交流事業

①国連、ユネスコ、各種国際機関および駐日大使館との交流事業

②海外平和団体（WWC、ブダペストクラブ等民間団体）との交流事業

③ヨーロッパ拠点活動

ヨーロッパ事務所（ミュンヘン）における財団事業の展開

④姉妹団体活動協力

- ワールド・ピース・プレーヤー・ソサエティ（米国の非営利法人）の日本窓口
- 日本語ウェブサイトおよびメールマガジン等による情報発信
<http://www.wppc.jp>
- 7 Million Actions and Prayers

目的：世界平和を推進する個人・団体をつなぎ 700 万人のネットワーク構築を目指す

内容：対象となる国の長所や課題、支援活動等を当事者から語ってもらい理解を深める「まなび」、その国を含めた世界 191 カ国に平和のメッセージを贈る「ギフト」、対話を通じて参加者同士の共感、プロジェクトの協働等を促す「つなぐ」の3部構成のプログラム

(7) 「富士宣言」推進（パートナー組織および事務局として）

① 「富士宣言」国際会議開催

開催日時 5月12日（金）午前10時より

参加者 国内外有識者約30名

内容 プレゼンテーション、グループディスカッション等

② 「富士宣言」ワークショップ（政治、経済、ビジネス、教育、科学、医療、文化、宗教、メディア等の分野）

開催日時 11月25日前後

参加者 五井平和賞受賞者、国内の若手リーダー等

内容 「富士宣言」にある価値観・世界観を様々な分野で体現するための「共創の場」づくり

③ 「富士宣言」パートナー団体との共催事業

- コンシャス・ビジネス・アライアンス

共催：ブダペスト・クラブ、ヒューマニティズ・チーム、ケース・ウェスタン・リザーブ大学

目的：新しいビジネス・パラダイムを模索するビジネス・リーダーたちと連携し、自然環境の保全と人類の幸福の拡大を図りつつ、経済的繁栄を達成する新しいビジネス・モデルの創造

内容：コンシャス・ビジネス・デクラレーションの推進、コンシャス・ビジネス・デーの制定・促進、コンシャス・ビジネス認証

④ ウェブによる推進

ウェブ上で賛同者ネットワークの拡大、イニシアティブの推進を継続的に展開
<http://fujideclaration.org/>

(8) 各種情報媒体の活用

①機関誌「平和の創造」および「W P P S ニュース」発行

季刊 各約5,000部作成と発送

活動報告、新しい方向性、発信すべき情報等を掲載

②インターネット

ウェブサイト <http://www.goipeace.or.jp>

メールマガジン「平和の創造」（日本語）、「Goi Peace News」（英語）発刊

ソーシャルメディア（フェイスブック、ツイッター、ユーストリーム等）活用

③各種行事のDVD制作

DVDおよびホームページ動画

④パンフレット等

財団紹介パンフレットの刷新（日英）

既存パンフレット等の有効活用

2. 顕彰と助成

(1) 2017年度五井平和賞

■趣 旨

教育、科学（人文・自然）、文化および芸術の分野で世界平和に資する活動・研究を行い、その方向性において全てとの調和を中心に据えた人類社会の招来という五井平和財団の理想と一致した個人または団体に授賞

■授賞式 平成29年11月25日（土）財団フォーラム2017で実施

■選考委員 第2号議案

3. 研究会等の調査研究

■平和科学調査研究会

年3回開催

幸せの価値観、新しい社会モデル、科学的事例調査各分科会による活動
自由研究、平和へのシナリオ、数学、生命憲章と科学思想についての調査研究
新しい文明に向けた価値観の共有

「つながり」を共通テーマとした「富士宣言」に関するリサーチ

公益目的事業 2 平和教育事業

1. 国際交流プロジェクト

- (1) 群馬県立女子大学連携講座「国際理解と平和」
平和について考える大使リレー講座
通期火曜日 計13～14回開催
講師予定者(未定): 駐日大使や外交官、国際NPO職員らを予定
- (2) 駐日外交官による交流プロジェクト
各国駐日大使館と日本の学校・教育機関との交流支援

2. 2017年度 国際ユース作文コンテスト

ユネスコ・持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラム推進事業として実施

- テーマ **『自然から学ぶ』**
- 応募資格 子どもの部(小学生・中学生)、若者の部(高校1年生から25歳まで)
- 応募締切 平成29年6月15日(木)必着
- 各賞 文部科学大臣賞/各部門1点
その他優秀賞、入選、佳作、学校特別賞(該当校がある場合)
- 授賞式 平成29年11月25日(土)財団フォーラム2017で実施
- 選考委員 第2号議案
- 主催 公益財団法人五井平和財団
- 後援 文部科学省、日本ユネスコ国内委員会、日本私立中学高等学校連合会、東京都教育委員会、NHK、日本経済新聞社
- 協賛 株式会社フェリシモ、セイコーホールディングス株式会社

3. ユース社会起業家コンペティション

国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）の推進ならびにユネスコ・持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム推進事業として実施。

- 内 容：持続可能な開発目標（SDGs）の達成に資するアイデアやプロジェクトを募り、若者の社会起業を奨励・育成するオンライン・キャンパスおよびオンライン・コンペティション
- 主 催：五井平和財団、スティブタング・アントレプレナーシップ財団、デジタル・エキスパート・ユナイテッド
- 後 援：国連平和大学、国連グローバル・コンパクト PRME (Principles for Responsible Management Education) プログラム、国際労働機関 SIYB (Start and Improve Your Business) プログラム
- 応募資格：15～35歳
- 応募部門：ベスト・アイデア部門、ベスト・プロジェクト部門
- 応募締切：6月30日（金）
- 各 賞：最優秀賞、2位、3位、ピープルズ・チョイス賞／各部門1点
- 授 賞 式：10月開催予定のアントレプレナー・サミット・ベルリンにおいて実施
- 選考方法：ウェブサイト上で最多得票を集めたエントリーにピープルズ・チョイス賞を授与
得票数により、各部門上位10位までのファイナリストの中から選考委員が最優秀賞、2位、3位を選考
- 選考委員：ギュンター・ファルティン（ベルリン自由大学教授）
（予 定）西園寺裕夫（五井平和財団理事長）
フランシスコ・ヨナス・アラヴェナ（国連平和大学学長）
ジョナス・ハートル（国連グローバル・コンパクト代表）
ヴァレリー・ロレーナ（ヤング・アメリカス・ビジネス・トラスト理事）
ラヴィ・チャウンドリー（シーネクスト・コンサルティング&インベストメント会長）他

4. 地球っ子広場

- 活動趣旨 子どもたちが放課後や休日に、広く社会と触れ合える居場所を創設し、保護者、地域の人々が集う、良き地域コミュニティを目指し、生命・平和・環境等を大人と子どもが共に学ぶ広場を運営する。
- 後援予定 ユネスコ国内委員会
- 活動内容

20ヶ所で実施予定

<国内>

地球っ子広場・奥州	地球っ子広場・ピースらんど	地球っ子広場・仙台
地球っ子広場・五井	地球っ子広場・いすみ	地球っ子広場・船橋
地球っ子広場・自由が丘	地球っ子広場・豊田	地球っ子広場・さむかわ
地球っ子広場・新潟	地球っ子広場・宮のびのび	地球っ子広場・富士SUN山
地球っ子広場・きょう	地球っ子広場・タカラヅカ	地球っ子広場・甲陽園
地球っ子広場・宮崎ひむか		

<海外>

ESPACE KIDS (フランス) Laboratorio di Pace (イタリア)

Earth Kids Space Unite (アメリカ) インドネシア (予定)

コーディネーター研修会 平成30年3月開催 (場所未定)

- 地球っ子キャラバン
地球っ子広場の発展的な形で、被災地の子どもたちをサポートする教室開催
- 教材の作成
これまでの実践を体系化しモデル教材としてまとめることで、国内外での更なる展開を図る

5. ユネスコ活動・ESD（持続可能な開発のための教育）

- ① 持続可能な開発のための教育(ESD)に関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)
- GAP パートナー・ネットワーク会合参加
 - UNESCO ESD Youth Leadership Training のプログラム作成支援
- ② 日本/ユネスコパートナーシップ事業 [文部科学省委託（申請中）]
- ESD ユース・ウィーク
共 催：文部科学省、日本ユネスコ国内委員会
会 場：首都圏ホテル・研修施設等
第4回 ESD 日本ユース・コンファレンス
日 程：2017年9月23、24日（土・日） 1泊2日
参加者：日本国内でESDを実践する18～35歳の若者、約50名
目 的：ユース世代の意見交換、情報共有、ユース世代の意見交換のためのプラットフォーム構築ならびにESDリーダーの育成
日中韓大学生交流プログラム
日 程：2017年9月24、25日、26日（日・月・火） 2泊3日
参加者：日中韓各国でESDを実践する18～25歳の大学生または大学院生。
各国10名程度、合計30名程度
目 的：第1回日中韓教育大臣会合の成果文書「教育交流のためのソウル宣言（仮訳）」の主旨に則り、3か国のユース世代の相互理解や信頼醸成を図ると共に、ユース世代によるESDの更なる推進、ネットワークの拡大を目指す
 - ESD 日本ユース・プラットフォーム会合（フォローアップ会合）
30年1月下旬ないしは2月中旬予定
- ③ ユネスコスクール支援
- 千葉県立市川昂高等学校「開かれた学校づくり委員会」に委員として参加等
- 国際ユース作文コンテスト受賞者との国際交流支援